

## 編集後記

今年も沖縄で5月初旬に梅雨入りしたのを皮切りに、北海道を除く東北地方までの梅雨入り予想が発表されました。全般的に平年よりも早い梅雨入りの予想です。降雨量としては平年並みの地域が大部分を占めますが、沖縄・奄美では平年よりも多くなり、大雨への備えについて注意喚起されています。本号は、梅雨だけではありませんが、雨と関係の深い「河川・ダム」の治水対策、維持管理、点検補修」を特集テーマに纏めました。

さて、本編では京都大学の角教授に、SDGsに貢献できる流域治水を実現することで、様々なところにWINな効果が期待できることを巻頭言で提言していただきました。治水領域では、継続的に様々なエネルギーを蓄えていること、活用することで周辺地域へ利益をもたらすなど、改めて考える機会になりました。行政情報においては、国土交通省インフラ長寿命化計画の第2次計画、ハードとソフトの両面から推進されている流域治水、今後各所で更新が必要となる河川管理施設の構成機器である排水ポンプの開発についての取り組みなどをご紹介いただきました。これらの取り組みを実現することが、災害報道の回避や軽減に繋がると考えます。特集報文では、様々な治水対策の取り組みや対策に関連する工法や技術、現在の活用状況に則したダムを改築した珍しい形状のラピリンス型洪水吐きについて紹介いただいています。維持管理として

は、効果的な設計に関する調査、ダム堆砂を持続可能に対処する技術の紹介、景観にもこだわった土砂吐の改修工事についての紹介ではいろいろな工夫が素晴らしい景観という結果に結びついたのではないかと思います。点検・補修としては近年増えつつあるダムのメンテナンスに使用できる水中機械の説明と今後望まれる技術開発について触れていただきました。水中における触覚などの感触も遠隔で得ることができるようになることを期待するところです。交流のひろばでは、インフラメンテナンス大賞を受賞された清流四万十川のシンボル「岩間沈下橋」復活までの取り組みを紹介いただきましたが、地域だけでなく全国のサポーターに愛されていることを感じました。ずいそうでは、記憶に残っているお酒にまつわる話でしたが、自身の若かりし頃を思い出してみたくくなりました。皆様のご協力により、今回の特集号も幅広い内容とすることができました。

今回執筆いただいた中には、施工中に異常出水を乗り越えられた工事についての紹介もあり、繰り返される自然災害を可能な限り軽減できるように対策と心構えを忘れてはならないと考えさせられました。水害など自然災害以外にも原因はありますが、全ての人々が平和に暮らせる社会の実現が望まれるところです。

最後になりますが、貴重なお時間をいただき、ご執筆いただいた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(松澤・飯田)

### 7月号「建設施工のDX特集」予告

・国土交通省が推進するインフラ分野のDX ・建設機械分野のDXの取組み ・人流データの開発 ・AIによる画像解析技術が拓く土木分野の課題解決へのアプローチ ・建設業におけるデータを活用したDXへの取組み ・建築DXへの取組み ・横濱ゲートタワーにおけるスマート生産の取組み ・BIMを活用したVRシミュレーションを通して工事の検討精度を向上させ、設計・施工工数の削減を目指す ・鉄道工事でのBIM/CIMの活用事例 ・地中探査結果を搭載したICT建設機械の活用による地下埋設物の保護 ・建設機械メーカーにおける営業のデジタル変革 ・自律施工の促進と普及を目的とした自律施工技術開発基盤OPERAの提案 ・無線ネットワーク環境で重機のスムーズな遠隔操縦を実現するサービスの紹介 ・発破用せん孔機の自動化技術と複数台遠隔操作ベンチリモート ・「建設RXコンソーシアム」ゼネコン16社がロボ・IoTで連携 ・量子コンピュータを活用したダンプトラックの土運搬経路の最適化 ・画像による山岳トンネルの切羽地質評価技術の開発

### 【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。  
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	見波 潔

### 編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

### 編集委員

菊田 一行	国土交通省
垂井 保典	農林水産省
細田 豊	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
穴井 秀和	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
阿部 靖	(株)大林組
内藤 陽	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
川崎 智博	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
小黑 誠	(株)加藤製作所
園田 満	古河ロックドリル(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

### 事務局

(一社)日本建設機械施工協会

## 建設機械施工

第74巻第6号(2022年6月号)(通巻868号)

Vol.74 No.6 June 2022

2022(令和4)年6月20日印刷

2022(令和4)年6月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10	電話(052)962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への  
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中